

平成30年12月3日(月)
茨城県ソフトテニス連盟

12月2日(日)、日立市の「(株)日立ライフ フットサルグリーンひたち」にて指導者講習会を実施致しました。講師には東北高校監督の中津川澄男先生をお招きし、御指導いただきました。高校の指導者を中心として約60名の指導者の方々にご参加いただきました。中津川先生には茨城国体に向けての指導者育成協力を快く引き受けていただき、平成27年度より今年で4回目となりました。これまでは、午前中に講義形式を取り入れたり、地元高校生を使つてのクリニック形式等工夫いただき、内容も前年の内容を復習しながら新たなメニューを入れていくといった継続性・発展性のあるもので講習いただきました。

今回はスタート時にホワイトボードを使ったミーティング形式での講習(ピーキングと練習計画の復習)から始まり、午前中にはストロークのフットワーク・各種ストローク、ローボレー、午後からは前衛の基本ボレーのステップや面捌き、ポジション取りの指導方法についてご教授いただきました。決して難しいプレーや練習のメニューではなく、小学校高学年のジュニアや中学指導にも用いることができる簡単でかつ細かい指導内容で実施いただきました。例年同様に東北高校の選手も補助員として上げボールはもちろん、実技を担当していただき高校トップレベルの技術に触れることもできました。また、施設準備や駐車場誘導・受付等で多賀高校女子・日立北高女子・科学技術学園高校のソフトテニス部員にもご協力いただきました。

来年度茨城国体は終了いたしますが、国体開催でこのような事業を実施してきたことを遺産(レガシー)として残し、同時期に指導者講習会を計画致します。例年、県連HPと中体連・高体連の強化担当を通してPRしていますが、ジュニア・中学の指導者の方の参加が少なくなっております。是非多くの県内指導者の皆様にご参加いただき小・中・高・一般の指導者のカテゴリーを越えた事業としていきたいと思ひます。

<講習会の様子>

